

8月特別研修 受講生募集中！

申込期限

6月20日(水)

次のとおり、8月に研修センターで実施する特別研修の受講生を募集します。
上半期の仕上げに、研修センター研修を御活用下さい。



研修名	日時	場所
企画力	8月20日(月)～21日(火) 9:30～16:30	自治総合研修センター
基礎法務	8月23日(木) 9:30～16:30	自治総合研修センター
地方公会計制度	8月27日(月)～28日(火) 9:30～16:30	自治総合研修センター
アサーティブ・コミュニケーション(第1回)	8月29日(水) 9:30～16:30	自治総合研修センター
政策法務	8月30日(木)～31日(金) 9:30～16:30	自治総合研修センター
タイムマネジメント(第1・2回)	第1回 8月30日(木) 第2回 8月31日(金) 9:30～16:30	第1回 自治総合研修センター 第2回 広島県三次庁舎

企画力

受講者の声

日程	8月20日(月)～21日(火)	政策・事業を考える上でアイデアを出し、企画案としてまとめあげるスキルを習得します。 ●定住人口、交流人口の維持・増加の事例から人口減少対策、交流人口拡大戦略とシティプロモーション(認知度拡大)の視点を学びます。 ●Webを活用した情報収集と統計的な分析、公共マーケティングなどの政策づくりの技法を学びます。
会場	自治総合研修センター	●グループ単位で実際に政策プランを作成し、発表する演習を行うことを通じて、企画の実践的ノウハウやプレゼンテーション力を体得することができます。

他の自治体の例示が多くとてもわかりやすかった。チームワークなどで理論を直ぐ実践できて、理解の助けとなった。

講師の説明が単に資料に沿った説明ではなく、事例を多く織り込んだもので、イメージが湧きやすく非常に分かり易かった。

定員 県18名、市町18名

対象 希望する職員

講師 関東学院大学 牧瀬 稔さん

講師紹介

民間企業、横須賀市都市政策研究所、財団法人日本都市センター研究室、一般財団法人地域開発研究所を経て、2017年から関東学院大学法学部地域創生学科。法政大学大学院公共政策研究科兼任講師。専門は自治体政策学、地域政策、地方自治論、行政学で、市区町村のまちづくりや政策形成に広く関わっている。著書に、『地域創生を成功させた20の方法』(秀和システム)、『地方議員が開く「政策の窓」』(中央文化社)、『条例で学ぶ政策づくり入門』(東京法令出版)、『政策条例のポイント～政策立案の手法を学ぶ』(東京法令出版)など多数。

関連するコンピテンシー



地方公会計制度

受講者の声

日程	8月27日(月)～28日(火)	地方公会計制度の概要をわかりやすく解説します。 ●貸借対照表や行政コスト計算書等の公会計資料の仕組みを学び、事例での説明を交えながら、自治体の経営状況を分析・評価できるスキルを身に付けます。 ●財政運営に関する住民説明や施策の課題抽出などに活用が期待できます。
会場	自治総合研修センター	

実際に他の自治体が公表している財務諸表を分析し、学習することで、理解を深めることができた。

グループ演習で他の人の分析や話を聞く中で理解できることもあり、勉強になりました。

定員 県15名、市町25名

対象 希望する職員
(簿記基礎研修の修了者等、財務諸表の基本的な仕組みを理解している職員向け)

講師 トーマツ 芝 弘至さん

講師紹介

有限責任監査法人トーマツ大阪事務所パブリックセクター部マネジャー・公認会計士。公立中学校で数学教師を勤めたのちトーマツに入社。入社後は上場企業の会計監査や上場準備支援、IFRS導入支援等を経験。パブリックセクター部で地方独立行政法人や公益法人等の会計監査を行うとともに、地方公会計制度導入支援及び研修業務をはじめ、公共施設等総合管理計画策定支援、自治体の包括外部監査補助や自治体内部監査のアウトソーシングなど自治体の行財政支援に幅広く携わる。

関連するコンピテンシー



アサーティブ・コミュニケーション(第1回)

受講者の声

日程	8月29日(水)	住民、上司、同僚、部下との対人関係を円滑にするコミュニケーションスキルを習得します。 ●自分も相手も大切にアサーティブの考えに基づき、意見を伝えるポイントを講義で学び、ロールプレイングを繰り返すことで上達を図ります。
会場	自治総合研修センター	

定員 県15名、市町15名

関連するコンピテンシー

対象 希望する職員

講師 アサーティブジャパン 牛島 のり子さん

講師紹介

心とからだの健康にアプローチする活動の現場を経て、現在アサーティブジャパン事務局長・専属講師として活躍中。全国各地の企業、自治体、大学、医療スタッフ及びその関係者等にアサーティブトレーニングを実施。



伝えなければいけないことでも、伝えていなかったことがあることに気が付かされた。お互いがWin-Winの関係となれるよう、伝え方を工夫し、コミュニケーションを図ってきたい。

ロールプレイングが多く、実践的に学べてよかった。

政策法務

受講者の声

日程	8月30日(木)～31日(金)	地域課題を解決する手段としての法律・条例の見方や立案の考え方を習得します。 ●政策法務の考え方(条例制定、法の解釈運用)について、講義と事例によるグループ演習を通じて学びます。 ●法制執務研修(法の形式や用語の用い方のルールを身につけ、条例や規則を改正する技術を習得する研修)とは異なります。
会場	自治総合研修センター	

定員 県15名、市町25名

関連するコンピテンシー

対象 希望する職員

講師 九州大学大学院 田中 孝男さん

講師紹介

大学卒業後、平成17年まで札幌市役所に勤務。市税の徴収現場、法規審査・訟務事務、市の組織管理、市の政策研究等の業務に携わる。平成17年から九州大学大学院法学研究院助教授。平成19年から同研究院准教授(職名変更)。平成28年から同研究院教授。主な著作に「条例づくりのための政策法務」、「自治体法務の多元的統制」、「ケースで学ぶ立法事実」(いずれも第一法規)、市町村アカデミーにおいて政策法務の研修講師を務める。



基礎的な概念の話から、判例・学説、演習と幅広く学べた。

行政法の基本を押さえつつ、一部教科書的ではない講義や討議があり、充実した内容の研修だった。

研修の概要等については、「研修ガイド」または「研修センターホームページ」を参照してください。

ひろしま自治人材開発機構ホームページは
ひろしま 人材開発 検索 クリック!
<http://www.kenshu-hiroshima.jp/>

